



認定NPO法人環境ネットワーク埼玉通信



E・N・S通信

No.41



埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

Saitama Center for Climate Change Actions

Index

表紙寄稿 持木 克之氏
令和8年度通常総会終了
記念講演開催
家庭の補助金情報おまとめサイト開設
埼玉県地球温暖化防止活動推進員の紹介
事務局からのお知らせ



次の世代は着実に育っている ～地球は未来の子どもからの借りもの

埼玉大学社会変革研究センター脱炭素推進部門 准教授 持木 克之

埼玉大学社会変革研究センター脱炭素推進部門では、環境省により選定された「脱炭素先行地域」の共同提案者として「さいたま発の公民学によるグリーン共創モデル」の取組に関わりつつ、カーボンニュートラル社会実現に向けた研究を進めています。

これに関連して、昨年度から、アクティブラーニングにより学生自らが考えて学ぶ全学共通科目「脱炭素社会を生きる」を開講しました。この科目で京都議定書の話をする時には、来年で採択から30年が経つこと、採択時には学生たちは生まれていないことに向き合い、毎度衝撃を受けています。

カーボンニュートラル実現目標の2050年には、現在の大学生は40歳代、社会の中核を担う世代になります。若年層は地球温暖化対策に対する意識や行動割合が他の年代と比べて低いという調査結果もありますが、授業で接する彼らは、自分の意思を表示することに慣れておらず、遠慮がちただけと感じています。問題意識や実践方法に気づききっかけが必要なだけかもしれません。

私たち大人は、若者たちがきっかけを得られるよう支援し、地球を若者たちに返していくのも選択肢かもしれません。12月に本学で開催するSDGsエコフォーラムの分科会で若者たちの声に耳を傾けてみてください。





令和8年度通常総会が終了しました

6月13日(土)、埼玉会館の会議室において令和8年度通常総会を多くの会員の参加を得て開催しました。

総会の議題は、令和7年度の事業報告案と事業決算案、令和8年度の事業計画案と事業予算案、役員の改選案でしたが、すべて満場一致で承認可決されました。

これで、令和8年度の活動が本格的にスタートしました。埼玉県においては、夏の



高温化による熱中症やゲリラ豪雨等の被害が激甚化しています。

2050年の脱炭素目標まで時間が限られ待ったなしの状況です。今年度も県民と力を合わせて温暖化対策に取り組んでいきたいと思っています。



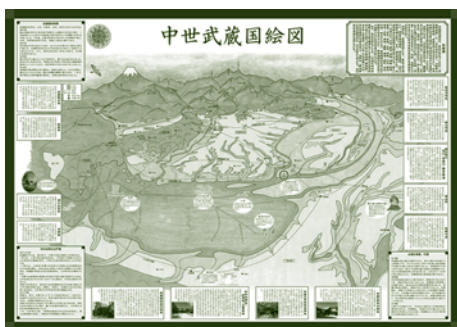
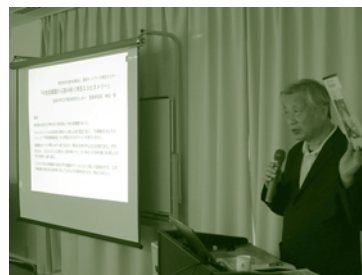
埼玉県温暖化対策課長
挨拶

記念講演を開催しました

総会時に学習会を兼ねて、講演会を開催しました。今回は、『中世武蔵国絵図から読み解く埼玉エコヒストリー』と題し、神谷 博様(法政大学エコ地域デザイン研究センター・法政大学江戸東京研究センター客員研究員)からご講演をいただきました。

「中世武蔵国絵図」は、水系と道に着目し、自然基盤構造と歴史を重ねて読み解くエコヒストリーの手法を用いて武蔵国を中心に關八州を描いた絵図ですが、その絵図と「水都東京エコヒストリー」から埼玉の成り立ち等、埼玉のエコヒストリーについてご紹介いただきました。

埼玉県は近世江戸時代までは東京都と一体の武蔵国でした。武蔵国はかつての關八州の一国であります。現在も日本の中心となる地域です。理由について、ヒトが日本列島に到達した3万5千年前から振り返って経緯を説明いただきました。



とりわけ中世、家康の描いた水系構想は関東圏全体(外郭は足柄峠、碓氷峠、白河の関等)を睨んだものになっており、貧水性の台地には大規模な灌漑を行い、分水の流末はすべての河川につながること近世江戸の基盤をつくり現在に至っています。この地域基盤は現在大きく3つの地域に分けられ、今後各居住地のサバイバル戦略として、武蔵野地域水網緑網都市構想、山手地域庭園都市構想、下町地域ラグーン都市構想が必要であると、展望を述べられました。

●賛助会員・寄付募集

認定NPO法人である当団体へのご寄付及び賛助会費は、**税制優遇措置の対象**となっています。所得税、法人税、相続税、一部の自治体の住民税において、それぞれ定められた条件を満たすことで優遇対象となります。詳しくは当団体のホームページをご覧ください。

<https://kannet-sai.org/about/member/tax.html>

引き続き、皆様のご理解とご支援をお待ちしています。



家庭の補助金情報おまとめサイトを開設しました！

家庭からの二酸化炭素排出量を削減するためには、日常的な取組も重要ですが、省エネ効率の高い機器等の導入がとても効果的です。あわせて、光熱費の削減にもつながります。

そこで、当埼玉県地球温暖化防止活動推進センターでは、国、県、県内各自治体の温暖化対策につながる今年度の補助金情報を一元化しました。HP上で各公的機関の補助金情報を見ることができしますので、ぜひご覧いただき活用をご検討下さい。

<https://kannet-sai.org/center/subsidy/index.html>

あわせて、抽選でプレゼントがもらえる“補助金活用キャンペーン”も実施しています。公的機関の補助金を活用し、省エネ機器等を導入された方には、最大でAmazonギフトカード30,000円分が貰えます。ぜひご応募下さい。

詳しくは、<https://kannet-sai.org/center/subsidy/files/0801.pdf>



埼玉県地球温暖化防止活動推進員の紹介



今回は上尾市在住の松島 昇さんをご紹介します。松島さんは平成30年に埼玉県より推進員として委嘱され、地域で長年温暖化防止活動に取り組んでいます。主な活動としては、「彩の国環境大学修了生の会」の理事として、県やさいたま市主催の環境イベント（エコライフ・展示会・打ち水等）や上尾市民有志が立ち上げた「上尾STOP温暖化連絡会」の会員として、市主催のイベント（出前講座・展示会等）へ参加したり、上尾市美術展覧会において、毎年温暖化関連絵画を出展するなど、市民へ温暖化防止の啓発・普及を図っています。

世界の温室効果ガスの排出量は増え続け、温暖化が加速され影響が激甚化しています。松島さんは、2050年カーボンニュートラルの実現が難しい状況の中で、市民の関心が薄いことに強い危機感を抱いています。時々、上尾駅や大宮・浦和などの各駅前で右記のようにのぼり旗を立てて、温暖化防止のパフレットを配布しています。

松島さんご自身のCO₂削減の取組としては、「エネルギー家計簿」を日々記録しCO₂排出量が見える化しています。平時、省エネの徹底、ゴミ削減、地産地消、プラ製品購入削減、自転車や公共機関の利用に努めています。

さらなる松島さんの活動に期待したいと思います。





● 事務局からのお知らせ

予告 「第8回SDGsエコフォーラム in 埼玉

つながろう 広がろう 世代を超えて エコの環」を開催します。

県内の団体・企業・行政・教育機関・地球温暖化防止活動推進員が一堂に会し、一日を通して情報交換、交流等を行います。

日 時 12月6日(日) 10:00～17:00

会 場 埼玉大学(一部オンライン併用)

主 催 第8回SDGsエコフォーラム in 埼玉実行委員会

共 催 埼玉大学、埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

後 援 埼玉県

参加費 無料

プログラム 午前 埼玉大学長による基調講演、埼玉県温暖化対策啓発動画コンテスト表彰式、他
午後 5つの分科会に分かれて情報交換会や意見交換会を行います。

※今回は展示会も開催します。展示希望の方はご連絡ください。

募集中 埼玉県温暖化対策啓発動画コンテストのお知らせ

埼玉県では、「広げよう！温暖化対策の環」みんなのショートムービーコンテストの動画投稿を募集しています。

このコンテストは温暖化対策の啓発が目的となっており、誰でも応募することができます。

入賞すると県知事賞や優秀賞が授与され、豪華な副賞もあります。表彰式は12月6日の「SDGsエコフォーラム in 埼玉」の開催会場(埼玉大学)で行われます。

詳細は、<https://comp-saitama-ondankaboushi.pref.saitama.lg.jp/index.html>



表紙の説明

燃料電池バスを鶴瀬駅東口で撮影

燃料電池バスは水素タンクに充填された水素と空気中の酸素の化学反応によって発生した電気を使い、モーターを回して走るバスです。走行時に二酸化炭素や有害な排気ガスを排出しない次世代の乗り物です。また、走行音も静かなので都市環境の改善にも有効です。



編集・発行

発行日 令和8年9月30日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL: 048-749-1217 FAX: 048-749-1218

<https://kannet-sai.org>

閉館日 土・日・祝日、12/29～1/3 開館時間 9:00～17:00

情報やお知らせ等、是非お寄せください

